

平成28年 第3回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 番	伊 藤 真 一	一問一答
2	6 番	櫻 井 正 夫	一問一答
3	2 1 番	橋 本 和 治	一問一答
4	1 7 番	軍 司 俊 紀	一問一答
5	1 1 番	酢 崎 義 行	一問一答
6	8 番	岩 崎 成 子	一問一答
7	9 番	海老原 作一	一問一答
8	3 番	小 川 利 彦	一問一答
9	2 番	稲 葉 健	一問一答
1 0	4 番	玉 木 実	一問一答

質 問 1

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 土地改良区への補助について

小規模土地改良区において毎年毎年、モーター故障、老朽化による不具合が発生しておりますので、その対策について質問致します。

- (1) 市の補助金 1/2 (MAX 70 万円) について、市の基幹産業としての取り組み状況について。
- (2) 「土地改良施設維持管理適正事業補助金」に対して今の、国、県、市の負担割合について、国 30%、県 30%、土地改良区が 40%であるが、国、県への負担割合を増やす要求をする考えはないのか伺います。

2 国民健康保険について

市の国保税については、医療分+後期高齢者支援金分+介護分を合わせて年間保険税になっています。

- (1) 医療分の均等割りについて、なぜ 18 歳未満の収入がほとんどない加入者に賦課金をかけるのでしょうか。

3 生活道路について

- (1) 小林の「横須賀踏切」はスーパーへの買い物へ行く人にとって大切な踏切となっております。市民よりもっと利用しやすくして欲しい要望があり、安全対策も含め改善する考えはないのか伺います。
- (2) 小林の馬場地区の市道 00-110 号線について、町内会では過去 10 年以上、国道 356 号線へ続く道路幅の拡張を要求しておりますが、中間までしか出来ていません。今後の予定はどうなっているのか伺います。

質 問 2

質問者 6 番 櫻 井 正 夫

1 地域活性化の支援について

- (1) 千葉ニュータウン中央駅の隣、イオン駐車場で開催された、市民祭りが大盛況でしたので、今後、続ける予定があるのかお聞き致します。

- (2) 川の駐車場で一ヶ月一度行われている軽トラ市に宣伝と仲間作りに支援についてお聞き致します。
- (3) 印旛・本埜地区で昔から続いて開催されている夏祭り・秋祭りに支援についてお聞き致します。

2 有害鳥獣駆除について

- (1) 最新のイノシシ被害状況について説明を求めます。
- (2) 3月の時点で電気柵の設置距離は40数キロメートルと聞きましたが、今年末はどの位となるか。
- (3) 電気柵の耐用年数は8年とのことですが、8年を過ぎれば再度補助金を出せるのか。
- (4) 執行部より国の補助要件に満たない場所も、今後は市独自で設置できるようにする趣旨の答弁がありましたが、農地でない住宅の裏庭等にイノシシが来る場合にも設置をする様に出来るのか。
- (5) 市と印西猟友会が締結している委託内容について説明をお願いします。
- (6) 箱ワナで何頭、くくりワナで何頭、猟銃で何頭、何時何処の地区で誰が捕獲又は駆除したのか、実績報告書等の記録書はあるのか。検査はどのようにしているのか。
- (7) 先進地の情報収集のために職員を南房総市や市原市等に出張させた実績はあるのか。

3 高齢者クラブの補助金について

- (1) 他の市町村との比較をお聞き致します。

質 問 3

質問者 21番 橋 本 和 治

1 北総線運賃問題について

- (1) 市長は選挙公約で北総線の利便性の向上を掲げたが、
 - ①利便性の向上とは具体的にどういうことか
 - ②運賃値下げに触れていないのはなぜか
- (2) 北総線通学定期割引率50%の可能性に対する市長の見解を伺う

2 スポーツ振興策について

- (1) (仮称)スポーツ振興条例を制定する考えはないか。
- (2) 老朽化・陳腐化した市内の運動施設の改修・改善計画を伺う。
- (3) スポーツイベント等のパブリックビューイング実施に対する本市の方針を伺う。

3 空き家対策について

- (1) 2033年には空き家が30%を超えるとの予測がある。
 - ①市では、今後の市内の空き家がどのように推移すると予測しているか。
 - ②空き家を増やさない方策を検討しているか
- (2) 空き家対策特別措置法に基づく市の対応について
 - ①「特定空き家」に相当すると思われる住宅を市では掌握しているか
 - ②解体・撤去を求める市民からの要望はあるか
 - ③空き家の解体を目的とした行政代執行に踏み切る自治体が増えてきた。本市としてどのような情報収集を行っているか。

4 消防団への支援策について

- (1) (仮称)消防団応援事業所制度を導入する考えはないか
- (2) 消防団加入促進を図ることを目的として、ふれあいバスに加入促進PRメッセージを掲載したラッピングを施す考えはないか
- (3) ニュータウン地域における自主防災会と消防団の連携はどのようになっているか

質 問 4

質問者 17番 軍 司 俊 紀

1 地域包括ケアシステムについて

厚生労働省では、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

印西市でも同年に向けて、地域包括ケアシステムの構築を進めるため、本年8月19日現在、地域包括支援センター運営事業業務委託法人を公募しています。

- (1) 地域包括ケアシステムの市民への制度周知は充分か。
- (2) 地域包括ケアシステムでは、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが求められているが、市として「支援センター」の運営をする委託法人に何を期待するのか。
- (3) 第6期介護保険事業計画の中で各論として「地域包括ケアシステムの構築のための重点取組」が掲げられている。「在宅医療・介護連携の推進」は計画通り、事業推進ができているのか。

2 市長公約と今後の市政運営について

- (1) 待機児童の解消に向けて「小規模保育の推進」や「送迎保育ステーション」の設置を挙げていたが、現状の待機児童数を踏まえ、以下を問う
 - ①今年度末の待機児童の見込数はどの程度か
 - ②待機児童（「保留児童」も含む）解消のために、どのような対策をとっていくのか。
 - ③市長公約実現のための進行計画はつくられるのか。
- (2) 北総線の利便性向上・運賃の値下げに対する取組に向けて県や沿線自治体、鉄道事業者と連携し、対応を継続するとあったが、以下を問う。
 - ①今年開催された株主総会で提示された営業状況・財務状況を市としてどのように分析するか。
 - ②住民の利便性向上の一つとして「時差回数券」の適用時間拡大という項目が公約として掲げられていたが、いつ頃を目途に調整、実現はされていくのか。
- (3) ニュータウン駅前センタービルを市内商工業の振興、発展のために活用を考えられないか。

3 放射能・放射線問題について

白井市では市立桜台中学校敷地内で、国の除染基準値を大きく上回る放射線量を観測した問題を受け、白井市は甲状腺エコー検査を希望する児童生徒らの負担費用の助成に乗り出すことが報道された。

印西市では、この報道を受けて、今後、同様に対応する予定はあるのか。

4 印西牧の原駅圏の将来について

地区の会議において、交通安全対策と防犯カメラの設置、防災について、話題に上るが、市内全域に関わることなので、市の施策として以下を問う

- (1) 地域内の道路において、「消えている白線」が目立ち、苦情が寄せられるが、対応し、解消はされるのか。先日、締め切られた「第10次印西市交通安全計画（素案）」の市民意見公募で、どのような意見が出ているのか、問題解決になるのか。

- (2) 住宅地での防犯カメラの設置に対する補助が首都圏で市川市、国立市、川口市などで行われているが、市では検討はされているのか。
- (3) 震災時の災害弱者は市で把握されているのか。その情報は地域で共有化され、いざという時に対応できる体制はとれているのか。

質 問 5

質問者 11番 酢 崎 義 行

1 より良い組織の調査研究について

西暦2000年頃から米国を基点として組織不祥事の研究が盛んになってきました。日本でも国内の様々な組織の不祥事は、社会的に大きな影響を与え、研究の蓄積が望まれてきています。

樋口晴彦氏の著書「組織不祥事研究」では、不祥事発生の原因は組織にあるとして、組織不祥事の原因メカニズムを解明した上で、組織不祥事を誘発する潜在的原因として

- ①アウトソーシングの影響
- ②成果主義の影響
- ③組織文化の影響
- ④効率性追求及びコスト削減の影響

の4つの型を抽出・分析しています。

印西市でも最近の傾向を見ると他人事ではない状況があります。樋口晴彦氏の研究が正しいとするならば、その原因の一端は組織にあると言えます。

そこで、印西市においても常に変化する環境に対応するため、そして不祥事等の要因を解消するためより良い組織の研究は行われていると思われませんが、この件について以下のことを伺います。

- (1) 組織と不祥事の関係についての見解を伺います。
- (2) 組織の変更や改善を議論する機会はあるか伺う。

2 小学校でのプログラミング教育について

2020（平成32）年度以降、小学校で「プログラミング教育」が必修化される見通しになりました。ただし、どの学年や教科で実施するかは、各学校に任せるといいます。

これまでのプログラミング教育は、どうなっていたのかというと、近年では、中学校の技術・家庭科（技術分野）や、高校の情報科で扱われていたよ

うです。

次期の学習指導要領（2020<平成32>年度以降に順次、全面実施の予定）でも更なる充実が検討されていましたが、小学校では引き続き、実施は予定されていませんでした。それが、ICT（情報通信技術）の進展に伴う「第4次産業革命」を成長戦略に位置付けたい政府の方針を受けて、文部科学省が急きょ有識者会議を設けて検討していたといいます。

さて、その実施を学校ごとに任せるとなっていますが、そうになると時間割や人材等準備が必要となってきます。

- (1) この件に対しての見解と対応策を伺います。
- (2) プログラミング教育の必要性についての見解を伺います。

質 問 6

質問者 8番 岩 崎 成 子

1 国際化の推進について

本市では、成田国際空港や都心への良好な交通アクセス、さらに企業の需要に十分対応できる立地環境を活かして外資系企業が進出しており、居住する外国人や定住化も年々進んでいます。さらには、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、外国人観光客についても増加すると思います。現在、執行部において国際化の推進のための施策展開を進めていますが、次の点について伺います。

- (1) 国際化推進体制の強化について
 - ①具体的な取り組みについて
- (2) 国際性を育む地域づくりの推進について
 - ①具体的な取り組みについて

2 ファミリーサポートセンター事業について

現在、本市は仕事と育児を両立できる環境を整備するためにファミリーサポートセンター事業を実施しています。そこで次の点について伺います。

- (1) 事業の進捗状況について
- (2) 課題について

3 シティセールスの推進について

現在、住み良さランキング5年連続全国第一位である本市は、国内外に知名度を高めるに絶好の機会です。そこで次の点について伺います。

- (1) 市の認知度・イメージ向上による転入、来訪促進について
- (2) オリンピック・パラリンピック関連の国内外の選手の練習場としてのキャンプ地誘致について

4 学校教育について

- (1) 小学校の英語教科化への取り組みについて
 - ①取り組みの現況は
 - ②今後の進め方について
- (2) 中学生の海外派遣について
- (3) 特別支援教育について
 - ①教育委員会の考え方について

質 問 7

質問者 9番 海老原 作一

1 狭あい道路の拡幅について

生活道路における狭あい道路が市民の日常生活に与える影響には、車両等の通行上の問題ばかりではなく、地震災害や火災発生時における救急活動・消火活動に支障をきたすことが予想できます。そこで、建築時等の機会をとらえ市民と市が協力し、狭あい道路の拡幅を推進することにより、よりよい日常生活の確保や緊急時対応に寄与できると考えられます。よって、市は安全で安心な災害に強いまちづくりという観点から、狭あい道路の拡幅整備に積極的に取り組むべきと考え以下の質問をいたします。

- (1) 狭あい道路の現状認識について
- (2) 現在行っている市の狭あい道路拡幅対応について
- (3) 他市の狭あい道路拡幅整備事業について
- (4) 今後の印西市の狭あい道路拡幅整備制度の導入について
 - ①生活道路における狭あい道路の把握について
 - ②建築行為等を行う場合の事前協議の制度化について
 - ③後退道路用地の寄附対応について

2 民生委員協力員制度について

地域で暮らす高齢者の方、障害のある方、子育てをしている方からの生活上のあらゆる相談に応じ、生活上の様々な不安や悩みを抱える住民の支援を行う民生委員は、全国的に人手不足といわれ、印西市においても欠員が生ずる状態にあります。また、少子高齢化の進行に伴う高齢世帯や一人暮らしの高齢者の増加により、一人当たりの担当高齢者数の増加や民生委員自身の高齢化に伴う後継者問題等の課題が深刻化していくことが予想されます。そこで以下の質問をいたします。

- (1) 地域別高齢化の現状について
- (2) 民生委員一人当たりの担当高齢者数について
- (3) 民生委員協力員制度導入について

質 問 8

質問者 3番 小川利彦

1 新市基本計画について

新市基本計画は、市村合併の特例等に関する法律により策定されたもので、速やかな一体性の確保や発展を目指すために、合併後の約10年間の財政計画や基本方針を示し、道路計画などを地域の設計図として示したものと思います。

この計画は、何のために作り、現在の状況についてを伺います。

- (1) 地域幹線道路等の新設改良事業（旧本埜村の4路線の進捗状況）について
 - ① 現計画にどのように反映されているのか（総合計画から第2次基本計画）
 - ② 予算が残ったら実施するとありましたが、その対応について
 - ③ 合併時の約束に対する市の考え方について
 - ④ 今後の状況について
- (2) 空き地等の管理状況について（総合計画から第2次基本計画）
 - ① 第2次基本計画にどのように反映されているのか
 - ② 現在の進捗状況と今後について
- (3) 文化財保護事業・活用について
 - ① 第2次基本計画にどのように反映されているのか
 - ② それぞれの取り組み事例と課題について

- ③世帯数の少ない地域の中で神社仏閣を保護していく場合に、地域の世帯割り負担も大きくなり問題になるが、現状の認識について
- ④印西市としての対応について
- (4) 景観マスタープランの策定について
 - ①第2次基本計画にどのように反映されているのか
 - ②現在の状況について
(都市部と農村部の課題とその対応について)
- 2 要望書等に関する一般質問に対する状況について
印西市としての対応について

質 問 9

質問者 2番 稲 葉 健

- 1 印西市国際化推進方針について
 - (1) 印西市国際化推進の政策について伺う
 - (2) 施策について伺う
 - (3) 具体的な取組について
 - ①外国人市民の状況と市の対応について伺う
 - ②主な事業例の取組について伺う
- 2 市制施行20周年記念事業について
 - (1) 現在の取組状況について伺う
 - (2) 今後の取組について伺う
 - (3) 来年度に向けての取組について伺う
- 3 発達障がいの対応について
 - (1) 発達障がいの現状について伺う
 - (2) 市としての対応について伺う
 - (3) 市としての今後の取組について伺う
- 4 中心市街地活性化について
 - (1) 中心市街地活性化懇話会について伺う
 - (2) 今後の取組について伺う

質 問 10

質問者 4番 玉 木 実

- 1 印西市において、安全安心な生活環境作りの取り組み
 - (1) 健康増進課の意義と目的
 - (2) ヘルスアップ教室と印旛支所内の設備の効用
 - (3) 健康診断との相互利用について

- 2 空き家対策の取り組み状況
 - (1) 平成27年6月一般質問後の取り組みの進捗状況について

- 3 公共交通、特に北総鉄道高運賃の健全化取り組みについて
 - (1) 過去5年間の経常利益について
 - (2) 建設時、旧鉄建公団への有利子負債の返済額の過去5年間の推移について